

第4次行政改革大綱 概要版

行政改革の目的

行政全般を見直し、効率的で効果的な行財政運営を行うこと

なぜ必要？

方針として本大綱を策定

社会情勢が変化し、市民ニーズが多様化する中、
質の高い行政サービスを提供するために必要！

情勢・市民ニーズの把握

職員の資質向上

組織体制の整備

財政の健全化

自治体DXの推進



「住んで良かった」と思えるまちづくりにつながる

本市を取り巻く現況

(1) 人口減少・少子高齢化の進行

労働力減少、社会保障費増加、地域コミュニティの低下など



(2) 財政状況の課題

歳入：法人市民税収入の割合が高い

歳出：義務的経費の割合が高い

・景気の影響を受けやすい
・財政の硬直性



(3) 行政におけるDXの推進

デジタル化、オンライン化の対応が急務な社会情勢



本大綱の計画期間

令和7（2025）年度～令和11（2029）年度（5年間）

※併せて「実施計画」を策定

※実施状況を市HPで公開

身近な項目から迅速に
実践していきましょう！

行政改革推進方法（概要）



方針1 市民ニーズの把握と協働

- (1) 市民ニーズを収集して政策課題を整理し、誰にとっても分かりやすい発信を行う。
- (2) 市民からの反応を間断なく受け取り政策に活かす。また、市民ニーズが活かされたかわかる仕組みを整備する。
- (3) 市民のやりがいと市民の持っている能力を引き出す仕組みづくりをし、協働によるまちづくりを進める。

方針2 職員の職務遂行能力向上と人事制度

- (1) 職員一人一人が市民の立場に立って考える。また、他自治体等と連携・交流する。
- (2) 組織としても職員個人としてもコンプライアンスの徹底を図る。
- (3) 職員研修制度を更に充実させ、職務遂行能力の向上を図る。
- (4) 人事評価制度の実施体制を確立し、職員のやりがいや充実感、組織の連帯感醸成や成長を促進する。
- (5) 職員の働き方を見直し、労働環境の整備を進める。
- (6) 職員採用試験制度の充実や多様な任用制度の活用を図る。また、女性管理職の登用を促進する。



方針3 効率的・弾力的かつ機動性のある組織の整備

- (1) 行政評価を実施し事業をPDCAサイクルに乗せて検証する。
- (2) 業務マニュアルの作成を推進し事務の継続性を確保する。
- (3) 業務の繁閑等に合わせ、職員の配置について弾力的に運用する。
- (4) 住民自治の原点である行政区のあり方を弾力的に見直す。
- (5) 積極的に事業のスクラップ・アンド・ビルドを行う。
- (6) 事業の性質に応じた手法で官民連携を導入する。また、包括連携協定を基盤とした民間活力の活用を進める。



行政改革推進方法（概要）

方針4 健全な財政運営



- (1) 歳出削減を進めるとともに歳入確保にも力を入れ、自主財源の確保に努める。また、財務書類を活用する。
- (2) 計画に基づき長期的な視点で市有施設の適正な管理を行う。また、迅速な遊休施設利活用の検討、取扱いを行う。さらに、ファシリティマネジメントを推進する。
- (3) 公立碓氷病院の更なる経営の見直しを行う。また、第三セクターについて運営状況や経理状況のチェックを強化し、民間への譲渡や完全民営化を検討する。

方針5 自治体DXの推進



- (1) 「行かない」「書かない」「待たせない」行政を推進する。また、行政手続等でマイナンバーカードを利用できる場面を増やし、利便性の高い行政を推進する。
- (2) 基幹系システムについてガバメントクラウドへスムーズに移行できるよう実施方法の検討と庁内の調整を進める。
- (3) 庁内ネットワークシステムの更なる強靱化を図る。また、職員は「安中市セキュリティポリシー」を遵守する。さらに、職員のセキュリティ意識を高めるための研修を定期的実施する。
- (4) AIなど新たな技術の利便性の浸透を図り、事務作業の効率化を推進する。また、モバイルワーク勤務を推進する。
- (5) 電子地域通貨を活用し、市内経済の好循環や地域コミュニティの活性化を図る。また、交通DXやドローンの活用を検討する。
- (6) デジタル技術に関する職員研修のプログラムを拡充し、デジタル人材の育成を図る。また、デジタル分野の専門知識を有する外部人材の活用と充実を図る。





目標欄

本大綱を踏まえ、
ご自身が実践する目標を
書いてみましょう！

令和7（2025）年度

振り返り☞

令和8（2026）年度

振り返り☞

令和9（2027）年度

振り返り☞

令和10（2028）年度

振り返り☞

令和11（2029）年度

振り返り☞